

認知障害者の日常生活・就労支援機器の研究 高次脳機能障害者の職業訓練の現場から

なんのための研究？

脳外傷や脳炎の後遺症等が原因で記憶や注意、遂行機能などに障害が発生する場合があります。そのような高次脳機能障害のある方の日常生活や就労、職業訓練を支援することを目的としています。右の写真は開発したPDA用ソフトウェアを使用している場面の一例です。



研究のポイントは？

手順支援、スケジュール管理、アラーム、ナビゲーションの4つの機能を研究開発しています。右の写真は手順支援機能とスケジュール管理機能のPDA画面の一例です。右下の写真は屋内用ナビゲーションを行っている際の画面の一例です。



実用化に向けて

国立職業リハビリテーションセンター、明電ソフトウェア株式会社との3者で共同研究を行っています。なお、一部の機能は明電ソフトウェア株式会社から市販化されています(商品名:メモリアシスト)
<http://talkassist.meidensoftware.co.jp/ma/>

